

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	実務演習 2	
科目基礎情報					
開設学科	建築学科	コース名		開設期	後期
対象年次	3年次	科目区分	選択	時間数	150時間
単位数	5単位			授業形態	実習
教科書/教材	取り組む内容に基づき印刷資料、またはpdfデータを配布				
担当教員情報					
担当教員	平山 浩樹 他		実務経験の有無・職種	有・建築設計 一級建築士	
学習目的					
実施設計課題として、実務的な知識を必要とする設計課題に取り組む。事前調査の段階では区役所等へ出向き、必要とされる情報を自ら収集したり、地域住民にヒアリングすることから問題解決の糸口を見出し、設計課題に臨む。また、建築法規で身に付けた知識を活かして確認申請図書を作成し、建築基準法に適合した建築物の設計を行う。					
到達目標					
建築設計者に必要なスキルとして、社会に適合する建築物を設計するための能力を身に付ける。事前調査にて守らなければならない社会規範、住民要望などを把握した上で、確認申請図書の作成を通して、社会に必要とされる建築物の設計ができるようになる。					
教育方法等					
授業概要	実社会で建築設計業務を遂行する上で必要な知識を、課題を通して学ぶ。役所へ出向き情報収集を行い、地域住民から要望を聞き取り、小規模な建築物の確認申請図書を作成する。建築基準法に適合する建築物の設計に必要な書類、図面を作成し、模型と共にプレゼンテーションし、田者の案と比較し、知識を深める。				
注意点	建築社会人になる上での、他者との接し方に気を付ける。知り得た個人情報はプライバシーの侵害にならないよう公開にあたっては注意する。今までに学んだ教材等を有効活用し、足りない情報は自己で調査することを徹底する。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	課題	50%	設計課題への取り組み、完成度について評価する		
	小テスト				
	レポート	20%	事前調査報告書の内容を評価する		
	平常点	30%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
	その他				
授業計画（1 回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1 回	課題説明 事前調査（1）		課題内容の理解、事前調査に必要な情報収集		
2 回	事前調査（2）		事前調査の実施 区役所		
3 回	事前調査（3）		事前調査の実施 区役所		
4 回	事前調査（4）		事前調査の実施 地域住民 他		
5 回	事前調査まとめ		事前調査のまとめ 地域住民 他		
6 回	事前調査 発表会		調査情報の共有を図る		
7 回	基本計画（1）		事前調査情報を基に基本計画を練る		
8 回	基本計画（2）		基本計画を数タイプ検討する		
9 回	基本計画 発表会		基本計画の類型化を行う		
1 0 回	基本設計（1）		基本計画の中で可能と思われる案について基本設計を進める		
1 1 回	基本設計（2）		基本設計図をまとめる		
1 2 回	基本設計（3）		基本設計図をまとめる		
1 3 回	基本設計図の完成		基本設計図及び簡易模型を完成させる		
1 4 回	建築基準法の確認		建築基準法の集団規定、単体規定に適合するかを確認する		
1 5 回	法適合建築物へ修正		法適合建築物となるように修正する		
授業計画（1 6 回～2 3 回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1 6 回	確認申請図書の作成（1）		概要書、確認申請書の作成		
1 7 回	確認申請図書の作成（2）		壁量計算書、換気量計算書の作成		
1 8 回	確認申請図書の作成（3）		面積表、各種図面の作成		
1 9 回	確認申請図書の作成（4）		確認申請図書のまとめ		
2 0 回	プレゼンテーション（1）		プレゼンテーション図面集の作成、模型の制作		
2 1 回	プレゼンテーション（2）		プレゼンテーション図面集の作成、模型の制作		
2 2 回	プレゼンテーション（3）		プレゼンテーション図面集の作成、模型の制作		
2 3 回	講評会		自身の案の発表を行い、講評を受ける。		